

## 第1節 琴平線（琴電琴平～一宮）

琴電琴平(8:32)～金毘羅観光～榎井(11:26)～羽間（はざま、12:12）～岡田(12:58)～栗熊(13:39)～羽床（はゆか、14:18）～滝宮(15:02)～綾川(新設)～陶（すえ、15:50）～畑田（はただ、16:47）～挿頭丘（かざしがおか、17:10）～岡本(17:30)～円座(18:12)～一宮(18:50)



琴電琴平駅

平成19年5月27日（日）、初夏の日差しの中、香川県にある琴平線に挑戦する。明日は家庭裁判所で父遺産に関し調停があるため、本日琴平線に挑戦する機会を得た。本日のコースは父がくれたようなものである。6時前に起床し、井戸駅6時50分発の電車にて瓦町駅へ。そこで乗換えして琴電琴平駅へ。運良く10分程度待ち合わせで、7時34分発の琴平駅に連結していた。電車を見る限り、琴平線は概ね平地を走っており、戦略的な地区は少なく思われた。琴平方面に来るのは、社会人になって初めてである。ただ、大学時代、友人が田舎自宅に訪れた際来たかもしれない。少なくとも30余年来ていない。琴平駅には8時32分到着。琴電の通りの向こうにJR琴平駅があった。



琴平駅前



玄孝橋

川の両側に黄色い提灯がある玄孝橋（げんこう）を經由し、タイル張りのこんぴら表参道に出る。8時46分、讃岐の酒の代名詞である金陵の郷があった。こんぴら表参道の両脇には土産店が続いていた。駕籠に乗った客もいた。金刀比羅宮本宮は琴平山の斜面に沿った高台にあり、遠くから本宮が一望できた。8時48分、第1歩の階段を上る。階段は伊豆山神社以来である。全部で785段（悩むー1）あるとのこと。展望台のある金刀比羅宮本宮には9時15分到着。そこから、2Km先の奥社を目指す。最初は緩いスロープの歩道が続いた。奥社まで500m、200m辺り（9時35分）から300段くらいの階段が登場する。200mのところには赤い屋根の休憩場があった。生れて初めてこのコースに挑戦する。途中、宮崎からの親子連れの観光客と一緒にいる。

本日は初夏の日差しだったので、山間のウォーキングは木陰で涼しくこちよかった。赤い社の白峰神社、菅原神社を經由して奥社である魂巖神社（赤い社）には9時44分到着。白峰神社には崇徳天皇をお祭りしている旨の掲示板があった。奥社まで足を運ぶ客は1割にも満たない感じであった。魂巖神社で記念写真を撮り引き返す。金刀比羅宮本宮には絵馬の社があった。沢山の観光客で賑わっていた。金刀比羅宮本宮までの中腹にある旭社には10時17分到着。10時35分、785段の階段を終了。JR琴平駅や琴電琴平駅の通りの大宮橋を10時45分通過。この橋の手前の店でAPSフィルムを購入。



金陵の郷 金刀比羅宮への入口階段

金刀比羅宮本宮と奥社



琴電琴平駅の隣には金刀比羅宮北神苑（10時50分）があり、テレビに登場するユニークの塔があった。また、琴電琴平線に沿った川の向こう側には琴参館や紅梅亭のホテルがあった。折角であるから琴電琴平駅から200m位先のJR琴平駅（10時51分）まで立ち寄り、ここで、新しい朗報を発見する。それは少なくとも高松駅から琴平駅までは電化されていることである。



金刀比羅宮北神苑 JR琴平駅

琴平駅近郊はJR線と琴電が複雑に絡み合っただけで地形が複雑となっていた。従って、この駅から榎井（えない）駅まで回り道をする事になる。JR線の線路11時5分を潜り、琴平線に沿って歩く。丁度上りのJR電車が少し高台にある鉄道を通過して行く。麦畑は黄金色で収穫間じかであった。5月連休頃田植えした稲が生き生きと青づいていた。榎井駅には11時26分到着。川幅が220mある土器川（どき）手前には11時45分到着。祓川橋（はらいがわ）は私の万歩計で373歩あった。土器川の河原にはグラウンドがあった。川には殆ど水がなく、砂漠の様相で橋を通らなくても向こう岸に渡れる感じであった。

た。



榎井駅

11時54分、高松26Km、綾歌5Kmの道路標識を見つける。琴平から円座までの琴平線は国道32号線とほぼ並行してあった。原則この道路を中心に本日歩く。12時県道282号線（高松琴平線）の満濃町羽間（はざま）に到着。12時8分、羽間踏切を越えると打越池の土手が見える。その先に打越池沿って羽間駅（12時12分）があった。この駅の駅舎はなかったが、上下の電車離合できるよう線路が2本あった。この駅の先は丸亀市（最近までは綾歌町）であった。合併に伴い殆どの道路標識が修正済みであった。羽間駅から少し行った先から国道32号となる。12時33分、讃岐うどん「ふるさと」に入り、大盛のぶっ掛けうどんを注文する。15分位休息して岡田駅を目指す。午後からは暑さを和らげるため、今年初めて濡れたタオルを帽子の下にセットする。



羽間駅

岡田駅

遊園地であるレオマワールドの看板を前面に出した駅舎をもつ岡田駅には12時58分到着。この駅は国道32号線から少し離れたところにあった。岡田駅の右手側の小高い丘にはレオマワールドの観覧車があった。長者原踏切を越え鉄道の右に出る。13時38分、元綾歌町役場の前を通過。前方に私が生まれ育った山（白山）と同じよう様相の山を見る。佐古川交差点（13時41分）であった。13時49分栗熊駅前を通過。



白山のような山

栗熊駅



羽床駅



滝宮天満宮

14時13分、綾川町（綾南町と綾上町の合併）に入る。羽床（はゆか）駅には14時18分到着。この駅から少し行った先に小野小学校跡（14時32分）があった。水が豊富な赤い橋を渡ると滝宮天満宮（14時54分）があった。池にはボートがあり、釣りを楽しんでいる人いた。駅舎をもつ滝宮駅は15時2分到着。上下の電車が離合する。駅員から「電車に乗るのですか」の質問を受ける。「乗りません」と答える。15時5分、綾川町役場前を通過。15時29分、北条池を横切る210mある北条池橋を通過。この池も川と異なり豊富な水があった。15時44分、陶（すえ）新大橋を通過。丘に沿ってある陶駅には15時50分に到着。綾川町立陶小学校前を16時通過。



滝宮駅



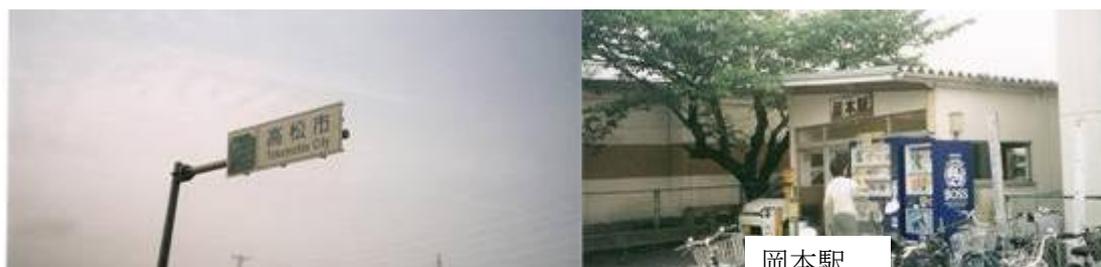
陶駅

本日は主要な駅間の営業距離情報は掌握していたものの、個別の駅間の営業距離情報

をもっていなかったため、無駄な動きを余儀なくされる。一例として畑田駅（はただ）への道がそうであった。この近郊で何回かのピストン運動が生じる。16時47分、やっと畑田駅に到着。この駅から少し行った先に挿頭丘（かざしがおか）があった。この近郊は高台にあり、道路下に駅があったため、注意深くしないと見逃す恐れがあった。駅前には綾川町立昭和北保育園があった。



畑田駅



岡本駅

17時15分、やっと高松市に入る。道路標識の看板をよく見ると、高松市のロゴは「屋島に5つの葉をもつ松のデザイン」であった。17時30分、駅舎のある岡本駅に到着。この駅も池の畔にあった。国道32号線から離れ、円座駅を目指す。円座駅には18時11分到着。18時25分、水が殆どない香東川の土手に到着。土手に沿って300m位歩く。何人かの人が土手沿いをウォーキングしていた。円座橋は万歩計で380歩あった。88番札所のひとつである一宮寺の近郊の一宮駅には18時50分到着。この駅は少し線路を渡り引き返したところにあった。

井戸駅までの切符（510円）を購入する。タイムリーにも18時52分発の上り下りの電車の入場がある。しかし、誤って下りの電車に乗り30分ロスする。円座で19時17分発の電車で自宅に向かう。19時7分、円座駅の照明点火。ラジオで聞えにくい巨人＝オリックス戦を聞き待ち時間をつぶす。一時は阿部の犠打で3対2と逆転するが、最終的には上原がローズから2ランを浴び4対6で再逆転負けする。最近では見られないホテルを自宅への帰り道見る。子供のとき以来の出来事であった。本日の営業キロは22.9Km、万歩計で64,817歩であった。本日は親父の御蔭で、金刀比羅参りに加え、琴平線のつたい歩きができ、充実した一日を送ることができた。



円座駅

一宮駅

## 第2節 琴平線（一宮～高松築港）

一宮(10:25)～空港通り(新設)～仏生山(ぶっしょうざん、11:15)～太田(12:14)～  
伏石(新設)～三条～栗林公園(13:22)～瓦町(13:50)～  
片原町(14:15)～高松築港(14:32)

一宮からの続きは、8月19日(土)～8月26日(日)の夏季休暇を利用して、8月22日(水)に挑戦。本年も昨年に続き、8月20日(日)、家内と三男坊の3名で車にて故郷香川まで来る。今回で車の移動は上京以来通算3回目である。昨年と異なり盆明けのこともあり、順調に香川まで移動することができた。自宅を4時10分に出て、香川の実家には15時30分に到着。洲本で交通事故の影響で1時間程度余計かかる。ここ以外には渋滞もなく順調に進む。途中の時刻は下記通り。

富士川SA 5時50分  
赤塚PA 8時20分  
木曾川越え 9時25分  
養老SA 9時45分  
淡路SA 12時15分



8月22日は5時前に起床。6時33分の井戸発の電車で瓦町まで行く。瓦町から7時4分発の琴平行き乗り継ぎ、琴平駅（8時30分）まで移動。本来ならば一宮駅まででOKだが。しかし、お礼参りを急遽思いつき琴平まで足を運ぶ。すなわち、有紀さんの安産と初孫成志の誕生のお礼参りで金刀比羅宮まで詣でるためである。785段の石段を登り、金刀比羅宮本宮には8時35分到着。本日は平日のこともあり、また朝早いこともあり、お参りする人は疎らであった。お礼参りをして直ぐ下山する。

アーケードのある琴平商店街を通り琴平駅に戻る。アーケードは150m位続いていた。最後まで通り過ぎたため、遠回りをして琴平駅に戻ることになる。15分位待ち、9時42分の電車で前回の終着点一宮駅まで移動する。本日は最高気温が36.6℃と猛暑日のため、移動時の電車は冷房がよくきき暑くなりかけた体を冷やしてくれた。一宮駅には10時25分頃到着。前回方向を誤ったこともあり、駅員に瓦町方面を尋ねて歩くことにする。下車した瞬間、上り下り方面に同じような山が見えたこともある。真夏の日差しが駅一面に照らしていた。トイレでタオルを水に浸す。それを帽子の下に被る。



田村神社の境内を10時33分通過。10時43分、遠くに屋島が見えるため池の土手に出る。川の土手と思ったら讃岐の代名詞であるため池の土手であった。高速道路の下に

空港通り駅があった。この駅は私の高校時代にはなかった駅である。恐らく、高松空港の移転時に創設されたのであろう。鉄道の左側に出て、仏生山駅を目指す。11時3分、県道280号線（高松香川線）高松市仏生山町前を通過。11時10分、香川農業試験場前を通過。この辺りから少し賑やかになる。



空港通り駅 仏生山駅

11時15分、仏生山踏切を渡ると仏生山駅だった。鉄道の右側に出る。駅舎はこれまでの琴平線の中で最も印象に残るグリーン屋根をもつ建物であった。また、駅舎には駐輪場があった。この駅は琴平に次いで賑やかな駅前だった。少し早いので、駅前の宮武という手打ちうどん屋に入る。また、駅前には大衆劇場仏生山（菊人形）があった。道なりに進んで行った先に本年3月に父遺産手続きで立ち寄った高松法務局（高松出張：11時42分）があった。11時50分、仏生山街道踏切越え、琴電の左側に出る。12時8分、県道147号線（太田上町）前を通過。真っ直ぐ行った先に太田駅（12時14分）があった。この駅で上り下りの電車が来る。太田駅は道路に沿ってあった。県道147号線の先は踏切であった。この道路を戻り、三条駅を目指す。12時20分、太田百華幼稚園があった。12時31分、太田中学校前を通過。紫雲山と屋島が遠くに見える。



太田駅

三条駅までは太田駅から随分遠かった。行けども行けども三条駅は見えず。川が途中にあった。鯉と亀が涼しそうに泳いでいた。三条駅は川を渡ると直ぐのところにあった。駅前には駐輪場があった。三条駅からは高松市内の様相が強くなる。遠くから社会保険栗林病院が見える。この病院の先に栗林公園駅（13時22分）があった。高校時代井戸駅から通った駅で懐かしかった。線路を越えると新しい幹線道路が開通していた。この

道路にそって母校の高松一高（13時28分）があった。校門の前で記念写真を撮る。



三條駅



栗林公園駅



高松一高



瓦町駅

懐かしい市街を歩き、瓦町には13時50分到着。大学時代夏休みや春休みに良く通った駅前のフェリー通りにあった碁会所「大学」の姿は既になかった。瓦町のデパートもそごうから天満屋に看板を変更していた。高松市自慢の商店街を通る。すなわち、常盤街、南新町、丸亀町、片原町のアーケードのある商店街を通り片原町駅に向かう。常盤街はシャッターの閉まった店舗が多かった。しかし、平日の割には思ったよりも人通りが多く、過疎化問題に多少安堵した。当然のことながら、知人等には全く会わず浦島太郎のお伽話を思い出す心境であった。片原町駅には少し暑さが和らいだ14時15分到着。高松築港駅には14時32分到着。14時34分位の長尾行きで自宅へ。自宅には15時17分到着。本日の営業距離は10Km、万歩計は32,990歩であった。本日で琴電琴平から高松築港までの32.9Kmを踏破する。なお、本日は高校野球の決勝戦（佐賀北＝広陵）が行なわれた。8回の裏、佐賀北が0対4から副島君の満塁ホームランにより5対4で打ち勝った日でもあった。



片原町駅

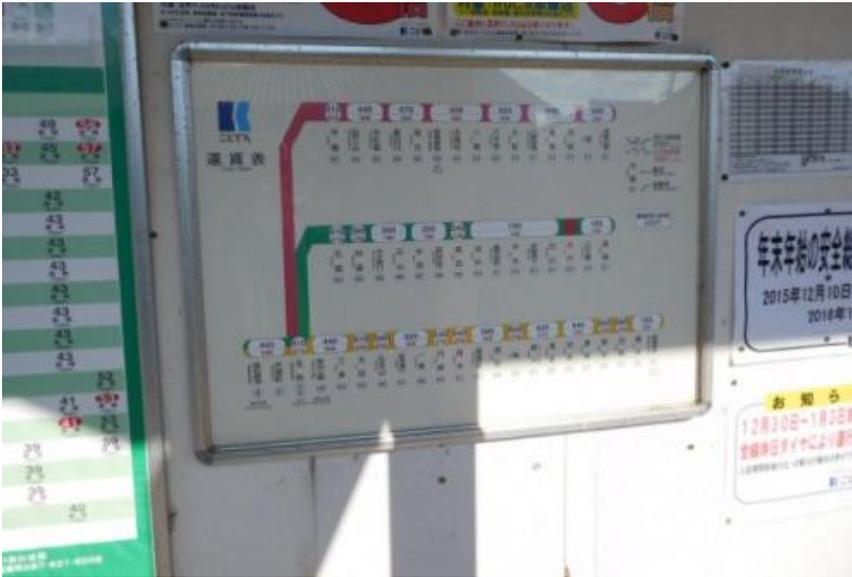
高松築港駅



金刀比羅宮本宮からの下界

### 第3節 志度線・長尾線

平成 27 年 12 月 29 日（火）、琴電（高松琴平電気鉄道）を踏破。琴電は次の三つの路線から構成され、総営業キロは 60 k m。このうち、数年前に琴平線（黄土色の車両）である高松築港から琴平までの営業キロ 32.9 k m を踏破。そして、今回志度線〔桃色の車両）である瓦町から志度までの 12.5 k m と長尾線（緑色の車両）である瓦町から長尾までの 14.6 k m を踏破。すなわち、本日で琴電のすべての路線の踏破に成功。



琴電  
路線図

天気に恵まれた12月29日の歩き等の行程は次の通り(実家を8時過ぎにスタートし、実家には19時前到着)。本日の歩きは讃岐平野の象徴のひとつである屋島(84番札所の屋島寺あり)や五剣山(85番札所の八栗寺あり)を前方や背後等にする鉄道つたい歩きとなった。本日は地元の土地勘を頼りに、地図を持たず、歩きに挑戦。そのため、屋島界隈で川が横切り、一番やさしいと思われる屋島駅のみ踏破できず、悔しい思いとなったが・・・。



左が屋島、右が五剣山

<長尾線>

長尾線の井戸駅と公文明(くもんみよう)駅のほぼ中間にある実家から、公文明駅(8時20分着)、長尾駅(8時31分着)と鉄道つたい歩きし、87番札所の長尾寺(8時39分)を参拝。



公文明駅



長尾駅



長尾寺 (87 番札所)



長尾寺からは、志度駅まで約8 km～10 kmある区間（県道3号線）をジョギング。途中、高德線に沿っての歩きとなる。この路筋は小学校時代の遠足や学生時代に車で通ったことがあり懐かしかった。途中、歩いた日から2日後の12月31日に脱線事故があった現場界隈を走る。今回のつたい歩きで、高德線が並走する箇所が多々あった。すなわち、造田駅、オレンジタウン駅、志度駅、讃岐牟礼駅、八栗口駅、古高松南駅、そして屋島駅。このうち、学生時代には、オレンジタウン駅はなかった。



JR 志度駅      琴電志度駅  
 (この界隈に 86 番札所の志度寺あり)

< 志度線 >

志度(9:57)～原(10:15)～房前(10:30)～塩屋(10:41)～八栗新道(10:56)～大町(11:06)～  
 六万寺(11:25)～八栗(11:43)～古高松(12:03)～琴電屋島～渦元(12:31)～春日川(13:06)～  
 沖松島(13:33)～松島二丁目(13:45)～今橋(14:00)～瓦町(14:11) :12.5km

国道 11 号線(9 時 30 分頃)に出て、志度駅の方が分からず、小学生に問い合わせる。懇切丁寧に教えてもらった後、「一緒に志度駅まで行きましょうか」と言葉あり。この言葉には感動また感動。「有難う。何とかいけます」と応対。少し行った先で、直進か右折か分からず躊躇していたところ、先程の小学生が登場し、「真っ直ぐです」とジェスチャーあり。JR 線を渡ると、旧の国道 11 号線に出る。その歩いた先に JR 志度駅(9 時 51 分)があった。地図を持っていなかったため、駅前で琴電志度駅を問い合わせる。琴電志度駅(9 時 57 分)は国道 11 号線を渡った先(目と鼻の先)にあった。



五剣山      原駅

長尾駅に比べ、意外に小さな駅舎なのでビックリ。この駅から国道 11 号線に沿って歩く。右手に琴電志度線、右手には高德線が続いていた。10 時 7 分、前方に五剣山が見える。原駅には 10 時 15 分、房前駅には 10 時 30 分到着。丁度 3 両編成の上り電車が

やってくるところだった。以下、塩屋駅から古高松までの到着時間は次の通り。駅間隔が1kmの区間が大半なので、未踏破にならないよう注意深く歩く。塩屋駅(10時41分)、八栗新道駅(10時56分)、大町駅(11時6分)、六万寺駅(11時25分)、八栗駅(11時43分)、古高松駅(12時3分)。



房前駅



塩屋駅



フコク生命



八栗新道駅



塩屋駅と八栗新道駅の間に、フコク生命さぬき営業所(10時44分)があった。八栗新道駅の直ぐ先には国道11号線を挟んで、JR線の讃岐牟礼駅があった。八栗界限は、家内の実家があった場所なので、数年前に他界した両親が思い出された。



讃岐牟礼駅



大町駅



六万寺駅



八栗駅



八栗から古高松そして屋島にかけて、琴電と川幅 10m 位の川が複雑に絡み合っていた。その関係で、屋島駅を通り過ぎる。屋島のロープウェイ跡を通り過ぎて見えたので確信する。恐らく屋島駅は小学生の絵画が展示していた近郊(12時25分)だろう。



屋島駅界隈か



春日川駅



沖松島駅

中学時代、木田郡の運動会のために利用した湍元駅(12時31分)があった。やはり想定通りであった。本日は万歩計を忘れたため、歩数をカウントして歩く。二つの川にぶつかる。12時41分、224歩の春日川を。12時42分、松山まで162km地点に到達。12時53分、258歩の新春日川橋を。そろそろ春日川駅と思い、国道11号線から路地に入る。200m~300m位行き過ぎていたが、無事、春日川駅には13時6分に到着。



松島二丁目駅

13時22分、103歩ある三つ目の川と対面する。この境界は海岸に近いこともあり、川幅一杯に水が流れていた。駅近くに火葬場と斎場がある沖松島駅には13時33分到着。弟や家内の両親の元気な姿が思い出された。松島二丁目駅には13時45分到着。13時49分、高松刑務所前を通過。14時、今橋駅に到着。そして、志度線の終着駅の瓦町駅には14時11分到着。



今橋駅 瓦町駅

<長尾線>

瓦町～花園～林道～木太東口～元山～水田～西前田～高田～池戸（いけのべ）～農学部前～平木～学園通り前～白山～井戸～公文明～長尾（14.6km）

瓦町駅から井戸駅までの到着時刻は以下の通り。

瓦町（14時11分）、花園駅（14時33分）、林道駅（15時15分）、木太東口駅（15時36分）、元山駅（15時58分）、水田駅（16時20分）、西前田駅（16時45分）、高田駅（17時5分）、池戸（17時26分）、農学部前（17時40分）、平木駅（17時55分）、学園通り前駅（18時10分）、白山駅（18時33分）、井戸駅（18時45分）。



花園駅



14時38分、高徳線下を潜る。14時55分、遅い昼食を「うどんしんせい」で摂る。とても美味しい“ぶっかけうどん”であった。16時6分、川添の先で春日川を渡る。この川は殆ど水が流れていなかった。これが讃岐の象徴かも知れない。元山から水田の間で、志度線の近くにあった屋島と五剣山をデジカメに収める。16時28分、かつて水田踏切があった地点に到達する。今は高架の鉄道となっており、車がスムーズに流れていた。この近くには高松自動車道があった。高田駅で日没となる。三木町に入り、暗闇の中のウォーキングとなる。でも、高校時代までこの界隈に住んでいた関係で、不安は全くなし。暗闇の中で、池戸駅、農学部前駅、平木駅、学園通り前駅、白山駅、そして上がりの井戸駅と踏破して行く。幸運にも、上がり瞬間の井戸駅（18時41分：私の時計では18時45分）で上下の電車が離合する場面に出くわす。感激の瞬間であった。



木太東口駅 元山駅



水田駅 西前田駅



高田駅



池戸駅 農学部前駅



平木駅



上がりの井戸駅

これで、神奈川の自宅から香川の実家まで鉄道つたい歩き（児島＝坂出間は瀬戸大橋に歩道がないため歩けず）にて繋がる。「継続は力なり」を強く感じる一日であった。長年の小さな夢が叶うと同時に、平成 27 年を分かりやすい鉄道路線歩き言葉で締め括ることができ、天や神に感謝あるのみ。お蔭様で営業キロは通算で 8,360 km（活動回数は 421 回）となる。

※平成 28 年元旦  
の井戸駅



## 第4節 リベンジ

2022 年 10 月 17 日（月）から 4 泊 5 日の日程で香川の実家（宿はホテル No 1 高松）に家内と一緒に 1 年 2 カ月振りに帰省する。主な目的は、墓参り、実家の庭の草抜き、そして琴電（高松琴平電鉄）の PDF 読本の執筆に関し、不備がある駅舎のフォロー。





※筆者最寄り駅（長尾線井戸駅）、背後に見えるのは白山



※綾川駅、伏石駅

17日から19日までの3日間、草抜きなどの傍ら家内による運転サポート(車鉄)で、当初の予定の駅舎をリカバリーする。大半の駅舎が10数年前とほぼ同じであった。しかし、琴平線の新設駅である伏石駅・綾川駅は初対面であり、近代的な構造に驚いた。車鉄のため、大回りも余儀なくされたが、ナビのお蔭で迷うことなく必要な駅舎に立ち寄ることができる。



※草刈り（90点のできばえ？）



※長男一橋大学入学記念樹（1999年6月：親父による）

そして昨夜深夜、待望の”日本横断歩き鉄の旅”PDF読本の第40編（琴電・嵐電・叡電・江ノ電・遠州鉄道・豊橋鉄道）を執筆しカッシー館に公開できる運びとなる。何と16年の歳月を要していたが。



※88番札所大窪寺、ホテルN01高松

今回の旅は、天気にも恵まれ、主たる目的の達成の他、親戚や近所の人にも対面でき、実り多い旅であった。



※新幹線内で祝杯、富士宮界隈の富士山

(^^♪・・・・(^^♪・・・・

感動の余り、第40編（琴電、嵐電、叡電など）PDF読本の公開に関し、沢山の友人にSMSやSNSで発信したところ、心温まるメッセージを恵送頂きました。感動と感謝で一杯になりました。その一部をご紹介します。

○ほとんど文豪です。積み重ねの集大成ですね。

○カッシー館、拝見しました。コトデン、嵐電、東武線、とても懐かしかったです。確かに鉄ちゃんはお金がかかります。僕も檜原さんを学び「遊学働」実践しています。

○実家高松なんですね～後程ゆっくり拝見しま～す

○学生時代は京都に住んでいたのが嵐電懐かしいです。大学3年生以降は中京区に住んでまして、嵐電西院駅の近くでした。阪急は「さいいん」ですが嵐電は「さい」ってなんでやろーと思ってましたが、あれは「さいの河原」の「さい」と教えてもらったことがあります。京都外大だったので、最寄り駅は山の内と天神川でした。天神川沿いの桜がとても綺麗だったのを覚えています。前に言ったことあるかもしれませんが、帷子ノ辻は私の先輩が住んでいたところでした。映画村近くのたこ焼き屋さんでは友人がバイトしていました（タコ）嵐山までも自転車でよく行きました。京都には6年間住んでいたの思い出たくさんです。

○早速、カッシー館の琴電を覗かせていただきました。全駅制覇は、凄いの一言です。それにしても、琴電懐かしいです。本籍地の片原町、母親の出里の塩屋、母親の弟の町、実姉の嫁ぎ先の沖松島、家内の実家の一宮、そして、母校の栗林公園など、思い出深い駅ばかりです。新駅の伏石は、帰高の日に、覗いてみなくてはと思っています。関東桜紫会のミニ会合、こじんまりとして、なかなか和気あいの雰囲気がかえります。嵐電等の記事も、ゆっくりと、覗かせていただきます。

○精力的ですね。素晴らしい。

○グッジョブです！

○琴電はもちろん、嵐電もとても懐かしいです。

○足掛け16年ですか。拝見します。学生時代ご利用の路線。琴電は知りませんでした。

○親しみのある電鉄なので楽しみに拝見します！

○久しぶりにカッシー館拝見しました。ちょっと見ない間にカッシー館閲覧36都道府県新記録達成と凄いことになってますね。おめでとうございます。このままいけば、47都道府県全制覇できそうですね。頑張ってください。

○情報ありがとうございます。拝見しました。大変参考になりました。コトデンの駅巡りいいですね。伏石、綾川、井戸駅。赤い電車は、京浜急行の車両ですか。

○カッシー館拝見しました。金毘羅さんの階段の写真懐かしく拝見しました。30年前の社員旅行を思い出しています。

○今、北陸街道（鳥居本から金沢）を三年振りに歩き中です。帰りましたらゆっくりと拝読させていただきます。

○素晴らしいことですね！また、自分史が増えましたね！

○ありがとうございます。昨夜の内にコレクションに保存させていただきました。寒くなって来ました。ご自愛のうえ益々ご活躍ください。次のコレクションをお待ちしております。10/25から二泊三日で帰省して八甲田山、十和田湖にドライブして来ます。紅葉はピークを過ぎそうですが兄弟の顔を見て来ます。

○よく頑張ってなすね！すごいなあ！元気そうで何よりです。今日は、暖かかったね。季節の変わり目。体に気をつけてください。

○凄いですね！！